

楽天証券、金・プラチナの価格スプレッドを 業界最狭水準に大幅縮小！

- 取引手数料に続き、スプレッドも業界最狭水準に -

楽天証券株式会社（代表取締役社長：楠 雄治、本社：東京都世田谷区、以下「楽天証券」）は、2019年6月3日（月）約定分より、「金・プラチナ取引」サービスにおいて、金とプラチナの価格スプレッドを業界最狭水準※に縮小することをお知らせします。

楽天証券では、価値がなくなるない貴金属の実物資産として、金・プラチナ・銀への投資が可能です。特に、純金の値動きは株式や債券との相関性が低いと言われているため、多様なリスクに対する備えの1つとしてもご利用いただけます。

先般、2019年6月より「金・プラチナ取引」サービスにおける買付手数料を業界最低水準に引き下げることを発表しました。さらに今回、金とプラチナの価格スプレッドを縮小することで、より一層低コストで楽天証券の「金・プラチナ取引」サービスをご利用いただけるようになります。

楽天証券では、お客様に低コストでお取引いただける環境を提供すべく、継続的に株式等の手数料引き下げを行ってきました。今後もお客様のニーズにあわせた商品・サービスを提供することで、更なる顧客基盤の拡大を図ってまいります。

■ 「金・プラチナ取引」サービス、金およびプラチナ価格スプレッド 新旧比較表

貴金属	新スプレッド (2019年6月3日～)	現状
金	78円	100円
プラチナ	125円	160円

注) スプレッドは原則固定となりますが、国内外の祝日など流動性が低下している時間帯により変動する場合があります。

■価格スプレッド 各社比較表 (2019年6月3日以降)

貴金属	楽天証券	SBI証券	田中貴金属	マネックス証券	三菱マテリアル
金	78円	80円	86円	111円	86円
プラチナ	125円	145円	129円	178円	150円
銀	3.9円	4.0円	4.09円	4.0円	4.09円

注) 2019年5月30日時点の各社ホームページに公表されている貴金属積立適用スプレッドを楽天証券にて比較。

※：主要取扱会社（SBI証券、田中貴金属、マネックス証券、三菱マテリアル、楽天証券（五十音順））の貴金属積立適用スプレッドで比較。（2019年5月30日現在、楽天証券調べ）。

以上

【手数料等およびリスクの説明について】

楽天証券の取扱商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ホームページの「投資にかかる手数料等およびリスク」ページに記載されている内容や契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

商号等：楽天証券株式会社（[楽天証券ホームページ](#)）

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会